

1 研究主題

自己をみつめ、他者と共によりよく生きようとする児童の育成
～自ら考え、自他共に認め高め合う道徳教育を通して～

2 研究主題設定の理由

近年のグローバル化、情報化、少子高齢化などにより、社会は急激に変化している。このような社会に生きていく子供たちに求められるのは、様々な文化や価値観を背景とする人々と互いに尊重し合い、対話し協働しながら、よりよく生きていこうとする力である。

そこで、本校では、平成 30 年度より新設された、「特別の教科 道徳」を要とした道徳教育を通して、「自己をみつめ、他者と共によりよく生きようとする児童の育成」をめざして、自分づくり部、仲間づくり部、学びづくり部の 3 つの部を構成して取り組んできた。

自分づくり部では、心タイムや構成的グループエンカウンター等の実践を通して、児童の自己肯定感の向上、支持的風土に満ちた学級作りなど、よりよい学校生活を送るための基盤づくりをめざした。また、仲間づくり部では、道徳性を育む豊かな体験活動を充実させるために、「いのちを考える日」を設定し、授業や集会を行った。また、道徳教育の深化を目指して、別葉の活用を行ったり、自己肯定感を高めるために「体験ふり返しカード」に取り組ませたりした。また、学びづくり部では、自己を見つめ、考える力を育てる道徳科の時間の充実を図って、指導過程の統一と対話活動、ふり返し、発問、教師による自己評価を設定し、授業の工夫を行った。さらに、児童が自分の成長を実感できるように道徳ノートづくりにも取り組んだ。

以上のような取り組みを通して、支持的風土のある集団の中で、課題について真剣に向き合い、これまでやこれからの自分について考えたり、周りの人たちと進んで関わり、学び合おうとしたりする児童が育ってきた。しかし、道徳科が目指す自分の考えを深めたり広げたりする深い学びにまでは至っていない。児童が主体的に自らの課題解決を探る授業を目指して、課題提示、発問、話し合い、ふり返し等の工夫・充実に取り組んでいく必要があると考える。さらに、児童一人一人のよさを認め、伸ばし、道徳性に係る成長を促す評価の在り方も考えていく必要がある。

そこで、今年度は、昨年度の研究を継承し、要となる道徳科の授業を工夫・改善し、学校教育活動全体を通じて計画的・発展的な道徳教育を行うことにより、研究主題に迫りたいと考えている。

3 道徳教育の重点目標

- 目標を立てて最後までやりぬくことができる。【希望と勇気、努力と強い意志】
- 感謝と思いやりの心で接することができる。【親切、思いやり】
- 自他の生命を尊重することができる。【生命の尊さ】

4 研究の目標

自己をみつめ、他者と共によりよく生きようとする児童を育てるために、主体的に考え、他者との関わりのなかで互いの良さを認め合い、自己肯定感を高める道徳教育の実践について研究する。

5 研究の内容と方法

(1) 自分づくり部 (心のサポート活動)

- 安心して生活できる「学級づくり」や自己肯定感を高める日常活動の充実
 - ・心タイムの計画、実施（ありがとう・よさ見つけカード・対話活動・エンカウンター）
 - ・Q U、心アンケート、道徳アンケートなどによる実態把握
 - ・「いじめ防止プログラム」の活用と修正
 - ・心を育む環境づくり（掲示の工夫）

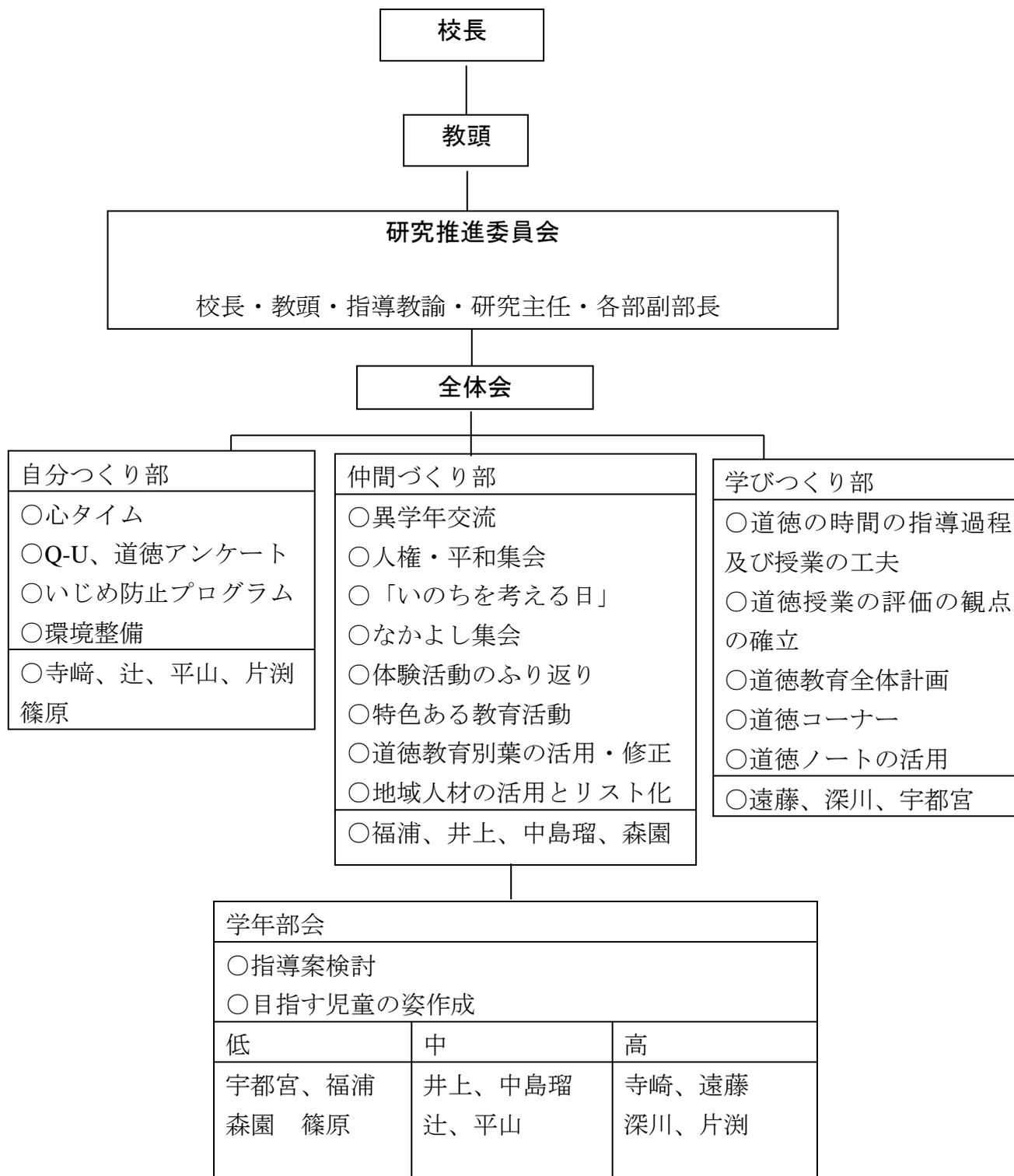
(2) 仲間づくり部 (豊かな体験活動)

- 道徳性を育む豊かな体験活動の充実
 - ・たてわりによる異学年交流活動
 - ・人権・平和集会
 - ・「いのちを考える日」
 - ・児童集会
 - ・体験活動のふり返りの工夫
 - ・特色ある教育活動（次郎週間など）
 - ・道徳教育別葉の活用と修正
 - ・地域人材の発掘とリスト化（教育ボランティア）

(3) 学びづくり部 (授業づくり)

- 自己を見つめ考える力を育てる道徳の時間の充実
 - ・道徳の時間の指導過程及び授業の工夫
 - ・道徳授業の評価の観点の活用（教師版、子供版）
 - ・道徳教育全体計画、学年年間計画（教科等との関連指導）
 - ・道徳コーナー（教室）
 - ・道徳ノートと自己のふり返りの工夫（評価への効果的な活用）

6 研究の組織



7 研究の年間計画

平成31年度 校内研究会日程表		
月 日 (曜)	会 議 名	内 容 (概要)
4 月 3 日 (木)	第1回研究推進委員会	校内研究の概要と内容及び組織作りについて
4 月 10 日 (金)	第1回校内研究会	全体会：校内研究の方法と内容及び組織についての提案 部会：研究の内容と方法についての話し合い
5 月 13 日 (水)	第2回校内研究会	全体会：各部からの取り組み提案 学年部会：めざす児童像について検討
6 月 5 日 (水)	第3回校内研究会	全体会：指導案の形式、授業研究会の持ち方の提案 学年部会：研究授業日程の検討
6 月 19 日 (水)	第4回校内研究会	部会：各部の計画に沿って話し合い
7 月 12 日 (金)	第2回研究推進委員会	1学期の振り返り、夏休みの研修について 2学期以降の取り組みについて
7 月 17 日 (水)	第5回校内研究会	全体会：1学期の振り返り、夏休みの研修について 2学期以降の取り組みについて
8 月 5 日 (月)	第6回校内研究会	全体会：理論研究
8 月 23 日 (金)	第7回研究会	学年部会：指導案検討
9 月 4 日 (水)	第8回校内研究会	全体会：2学期の取り組みについて各部より提案
9 月 日 (水)	第9回校内研究会	第1回授業研究会
10 月 日 (水)	第10回校内研究会	第2回授業研究会
10 月 日 (水)	第11回校内研究会	第3回授業研究会
11 月 日 (水)	第12回校内研究会	第4回授業研究会
11 月 日 (木)	第13回校内研究会	第5回授業研究会
12 月 日 (水)	第14回校内研究会	第6回授業研究会
12 月 18 日 (水)	第15回校内研究会	全体会：2学期の反省、研究紀要について 部会：2学期の反省、研究のまとめ
1 月 9 日 (水)	第16回校内研究会	研究紀要原稿作成
2 月 12 日 (水)	第17回校内研究会	部会：研究紀要原稿校正、年間計画見直し
2 月 14 日 (金)	第3回研究推進委員会	研究の成果と課題について
3 月 4 日 (水)	第18回校内研究会	全体会：来年度校内研究会計画